

## 平成28年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	袖ヶ浦市立代宿児童館				
施設所管課名	子育て支援課				
指定管理者名	代宿区				
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間のうち1年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input checked="" type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

### 1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市代宿75番地1
施設の設置目的	子どもの遊び場の提供
指定管理業務内容	(1) 施設・設備の維持管理に関すること (2) 施設の運営に関すること (3) 利用の許可に関すること (4) 危機管理に関すること (5) 事業計画・報告書等の提出に関すること (6) モニタリングの実施に関すること (7) 情報公開・個人情報の保護に関すること (8) 各種統計調査資料・環境調査等作成に関すること

### 2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数(日)	293	293	100.0%	293	99.7%
施設利用者数(人)	6,000	6,178	103.0%	5,670	109.0%
貸室(設備)稼働率(%)	—	—	—	—	—
事業開催数	11	11	100.0%	16	68.8%

### 3 施設の経営状況

(単位：千円)

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	2,615	2,615	100.0%	2,545	102.8%
利用者当たり管理コスト	0.44	0.42	97.1%	0.45	94.3%
利用者当たり自治体負担コスト	0.44	0.42	97.1%	0.45	94.3%

# [ 評価結果 ]

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
<b>I 履行の確認</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	B	A
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	A
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	B
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	A
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	-
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	B	A
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	A
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	B
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	A
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	A	A
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	B	B
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	B
<b>I の総括</b>	<b>当該施設評価項目数</b> 《標準評価項目数 12 本》	<u>11本</u>	A
<b>* 指定管理者の自己評価</b>	プール開放前に、管理指導員に普通救命講習を受講させ危機管理に努めた。男子トイレにも洋式トイレを設置し、利便性の向上を図ることができた。また、利用者が今年度もさらに増加した。		
<b>* 施設所管課の評価</b>	施設の設置目的を達成するため、利用者の利便性の向上や環境の整備に積極的に取り組んでおり、随時履行内容の再確認を行うなど指定管理者としての役割を十分果たしている。		
<b>II サービスの質の評価</b>			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	B	B
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	B	A
3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	B	B
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	B	A
<b>II の総括</b>	<b>当該施設評価項目数</b> 《標準評価項目数 4 本》	<u>4本</u>	B
<b>* 指定管理者の自己評価</b>	利用者アンケートは、館内の清潔度を除き、各項目とも過半数が「A そう思う」と回答し、利用者の満足度は高い。管理指導員の意識も高まってきている。施設の経年劣化はあるが、さらに清掃に力を入れる必要がある。		
<b>* 施設所管課の評価</b>	利用者満足度は、引き続き高い水準を維持しているものと見受けられる。限られた条件の中で創意工夫し、サービスを提供しているものと判断する。		

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	所管課評価
			A	A
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	保守管理業務は、仕様書に基づいて適切に行った。今年度は男子トイレにも洋式トイレを設置して利用者の利便性の向上を図った。利用者にとって使いやすい雰囲気づくりを心掛けた結果、利用者数は増加した。草刈りやプール清掃など、ボランティアの協力を得て経費の節減を図っている。		
	施設所管課	限られた予算の中で、経費の削減に努めており、効率的かつ効果的な施設運営を常に心がけ質の高い施設運営が行われているものと判断する。		
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	予算をやりくりして、男子トイレにも洋式トイレを設置するなど時代の変化に対応して利用者の利便性の向上を図った。		
	施設所管課	他地区の利用促進を図っているものの、地元地区に偏っており、施設も老朽化していることから、今後の施設の運営方針を決定することが喫緊の課題である。		

《評価区分》

①評価基準	<p>A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である</p> <p>B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である</p> <p>C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある</p> <p>D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である</p>
②総括	<p>A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
③総合評価	<p>A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である</p> <p>B (良好) = 総括がすべてB以上である</p> <p>C (課題含) = 総括がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>